



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2024年度 第2四半期 決算説明会資料

2024年11月7日
株式会社UACJ



発表のポイント

- 2024年度上期の事業利益*は300億円(前年同期比 +90億円)
- 2024年度通期業績予想 455億円、配当予想 140円/株

1

■ 2024年度上期 事業利益 300億円(前年同期比 +90億円)

- ✓ 国内：缶材、厚板等の販売が順調に進捗し、収益を確保
- ✓ 海外：北米を中心とした、グローバルでの好調な缶材需要を捕捉し、増収増益

2

■ 2024年度通期業績予想 事業利益 455億円(前期比 +21億円)

- ✓ グローバルでの缶材需要は想定通り堅調に推移するものと見込む
- ✓ 業績予想は据え置き、今後の外部環境の影響を見極める
- ✓ 最終利益 205億円(前期比+66億円)、年間配当140円/株(前期比+50円/株)

* 事業利益：持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの

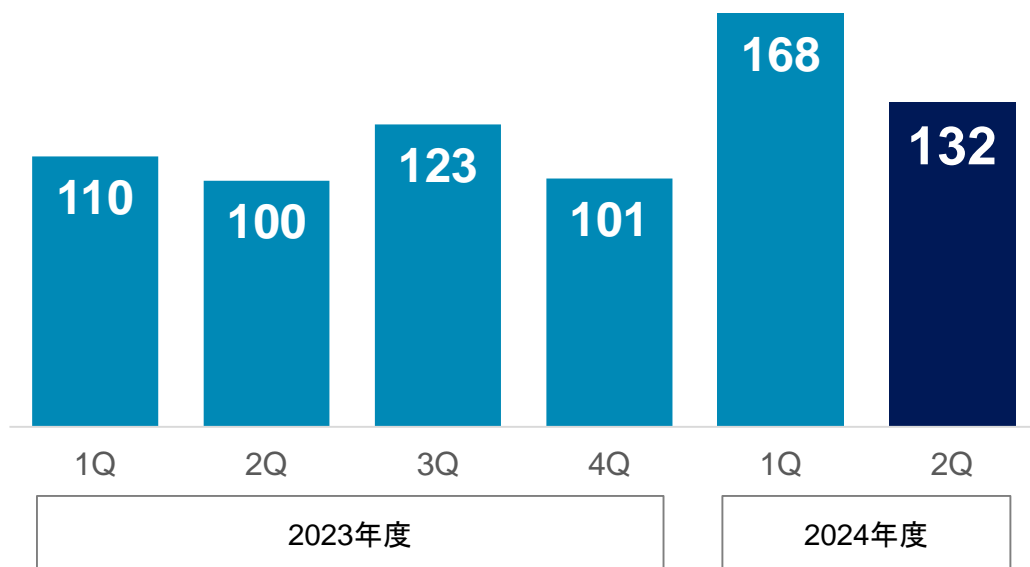
発表のポイント

2024年度上期の状況および通期見通し

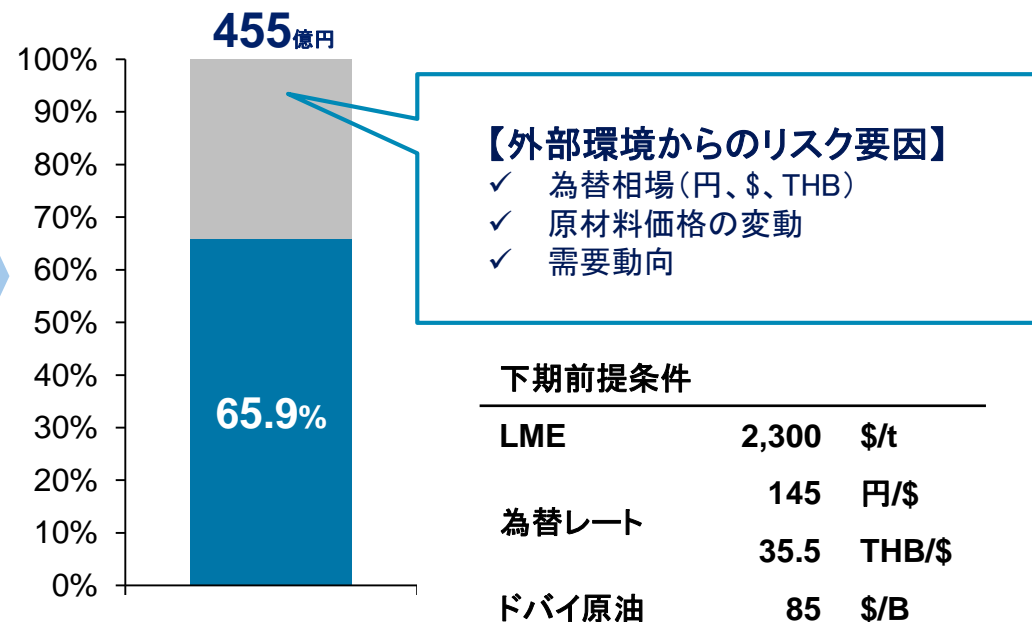
- ✓ 上期実績: 期初想定を上回って着地
海外...グローバル全体での好調な販売
国内...品種構成の好転
(缶材: 需要期の販売増、厚板: 流通在庫の適正化による一時的な需要増)
- ✓ 下期以降: グローバル缶材需要は堅調に推移すると見込む
- ✓ 今後、下期にかけての為替相場、原材料価格動向を見極める

事業利益
455億円
の確実な達成を見込む

四半期事業利益推移(億円)



2024年度 事業利益の進捗率



1. **2024年度 上期業績**
2. **2024年度 業績予想**
3. **企業価値の向上に向けた取り組み**
4. **ご参考**

1. 2024年度 上期業績



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

上期 業績

(単位:億円)	2023年度 上期 (A)	2024年度 上期 (B)	増 減 (B) - (A)
売上収益	4,349	4,871	522
事業利益	210	300	90
棚卸資産影響等	△81	57	138
営業利益	129	357	228
親会社の所有者に帰属する当期利益	45	167	122
1株あたり当期利益 (円 / 株)	94	346	252
(参考) 事業利益をベースとした 親会社の所有者に帰属する当期利益	102	121	19
(参考) 事業利益をベースとした 1株あたり当期利益 (円 / 株)	211	251	40
Adjusted EBITDA*1	390	487	97

アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2023年度 上期 (A)	2024年度 上期 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材*1	385	428	43
箔 地	22	21	△ 1
I T 材	3	5	2
自動車材	69	68	△ 1
厚 板	16	21	5
その他一般材	83	90	7
合 計	578	633	55
	国内市場向け 233 海外市場向け 345	国内市場向け 250 海外市場向け 383	国内市場向け 17 海外市場向け 38

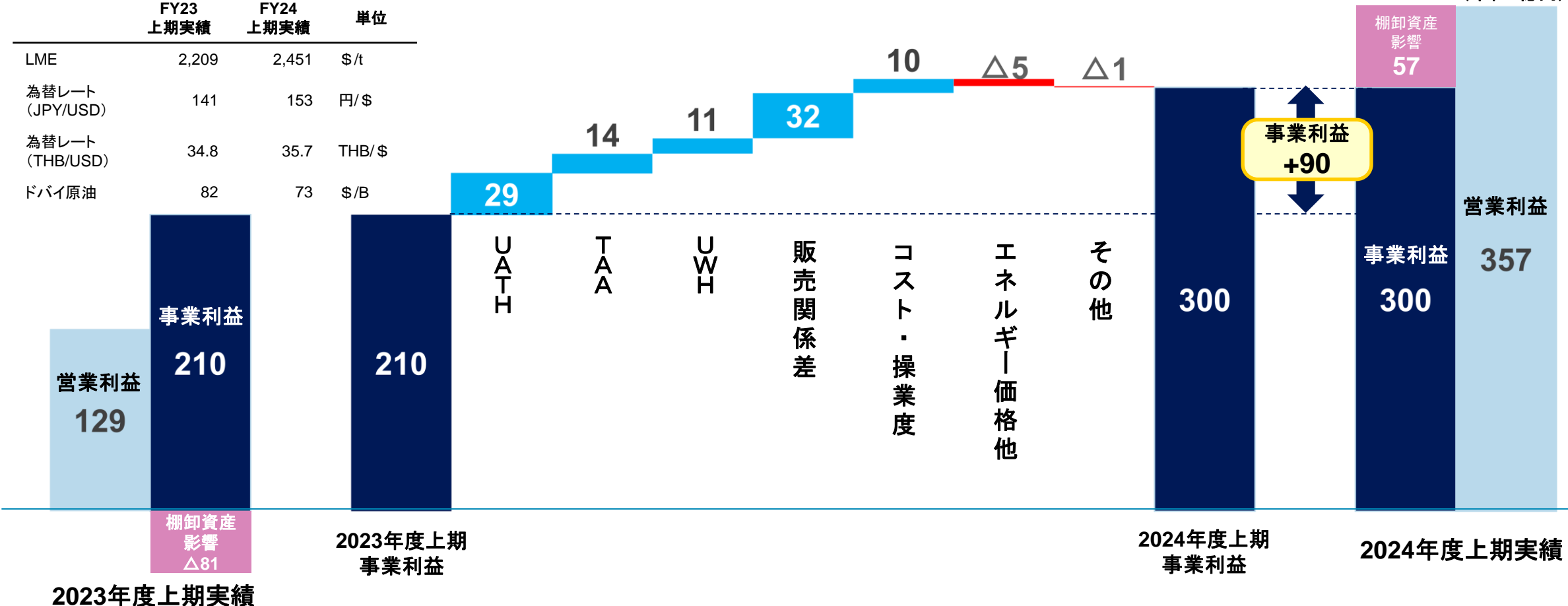
事業利益分析 (2023年度上期 → 2024年度上期)

事業利益: **210億円** (2023年度上期) → **300億円** (2024年度上期)

(棚卸資産影響額: Δ 81億円(2023年度上期) → 57億円(2024年度上期)、前期比 +138億円)

(単位: 億円)

	FY23 上期実績	FY24 上期実績	単位
LME	2,209	2,451	\$/t
為替レート (JPY/USD)	141	153	円/\$
為替レート (THB/USD)	34.8	35.7	THB/\$
ドバイ原油	82	73	\$/B



連結財政状態計算書

棚卸資産の増加により、運転資金が増加

連結財政状態計算書

(単位: 億円)	24/3末 (A)	24/9末 (B)	増減額 (B-A)
現金及び現金同等	402	308	△94
営業債権及びその他の債権	1,797	1,946	149
棚卸資産	1,879	2,157	278
その他の流動資産	234	245	11
有形固定資産	3,852	3,817	△34
その他の非流動資産	981	962	△18
資産合計	9,144	9,436	291
営業債務及びその他の債務	1,417	1,366	△50
借入金	3,109	3,264	155
その他	1,599	1,632	33
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,770	2,922	151
非支配持分	250	252	2
負債及び資本合計	9,144	9,436	291

資金運用表

	用途	調達
長期資金	設備投資等	199
	法人税等支払	43
	長期資金余剰	205
短期資金	運転資金増減他	484
	短期資金不足	484

長期資金 205 億円

短期資金 △484 億円

フリーキャッシュフロー △278 億円

連結キャッシュ・フロー計算書

2024年度のD/Eレシオ目標水準 1.0倍を維持

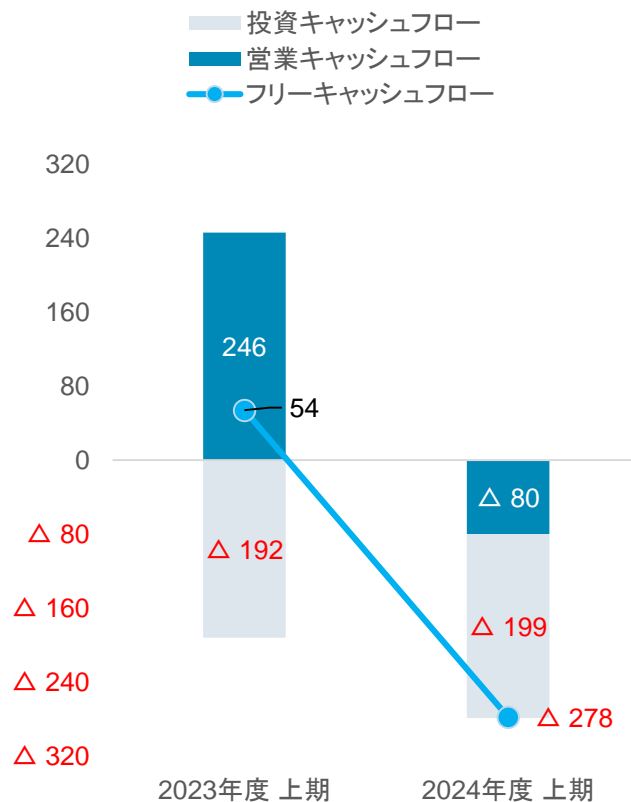
2024年度上期 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

税引前利益	260
減価償却費	187
債権債務増減他	△527
営業キャッシュフロー計	△80
設備投資 他	△199
フリーキャッシュフロー	△278
ファイナンススキーム・配当他	17
現預金増減(△は増加)	94
外貨建て借入金換算差(△は増加)	13
有利子負債(△は増加)	△155

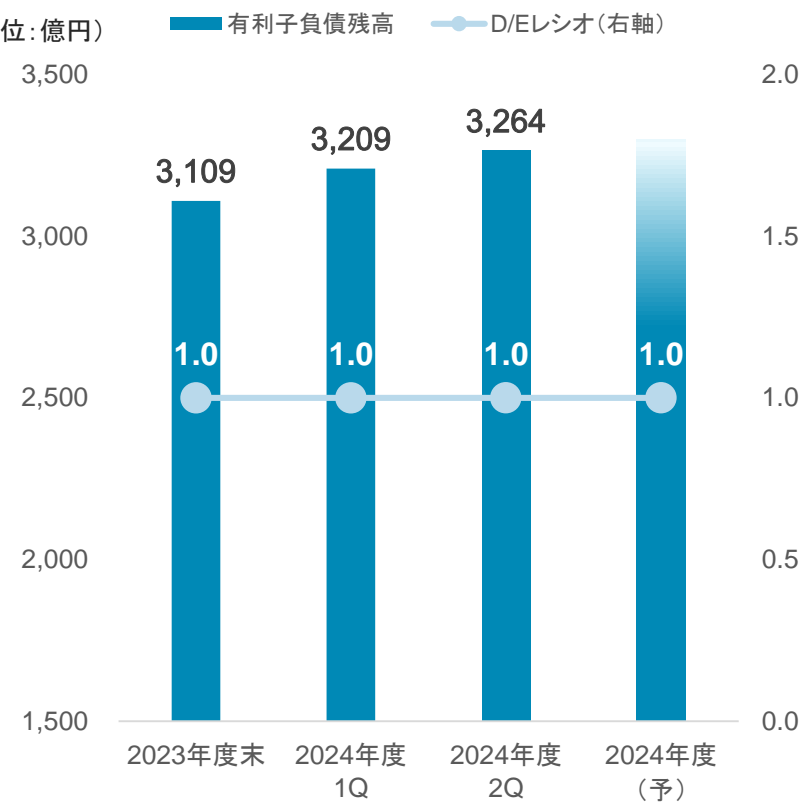
連結キャッシュフロー 推移

(単位:億円)



有利子負債残高・D/Eレシオ*

(単位:億円)



設備投資・減価償却費

設備投資は減価償却の範囲内を堅持

		2024年度上期 実績	2024年度 見通し	2024～27年度 計画	2021～23年度 実績
(単位:億円)					
設備投資	一般投資	100	160	820	556
	戦略投資	47	205	780	247
	合計	147	365	1,600	803
減価償却費		187	365	1,600	1,018

タイ(UATH)の状況

グローバルでの缶材需要を取り込み、増収増益

総括

需要 : グローバルでの缶材の需要は回復し、2030年までは3-4%で需要が伸長する見通し

販売 : **【北米向け】**

缶材需要回復に応じ、製品の出荷を継続

【ASEAN・その他地域】

- ・ 新規顧客の開拓を進め、販売展開エリアを拡大
- ・ 中国材との競合に対し、安定供給と高い品質を強みに契約交渉を実施

損益 : 販売数量の回復で収益を確保

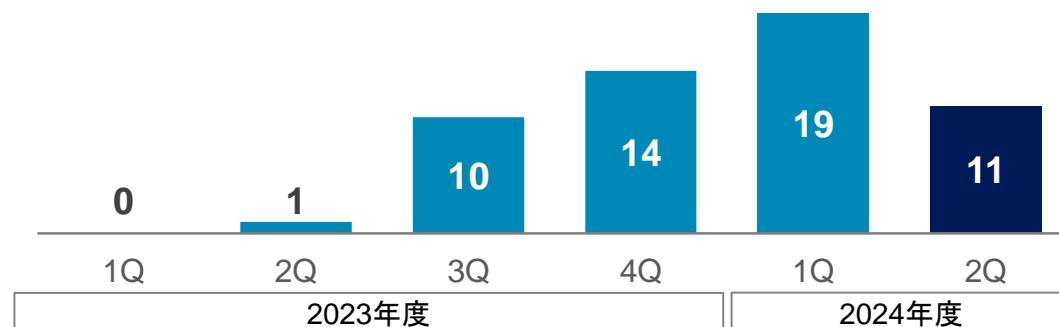
(単位:億円)

	23年度 上期 (4~9月)	24年度 上期 (4~9月)	前年同期比
販売量(千t)*	126	149	23
売上収益	692	947	255
営業利益	△13	59	72
事業利益	1	30	29

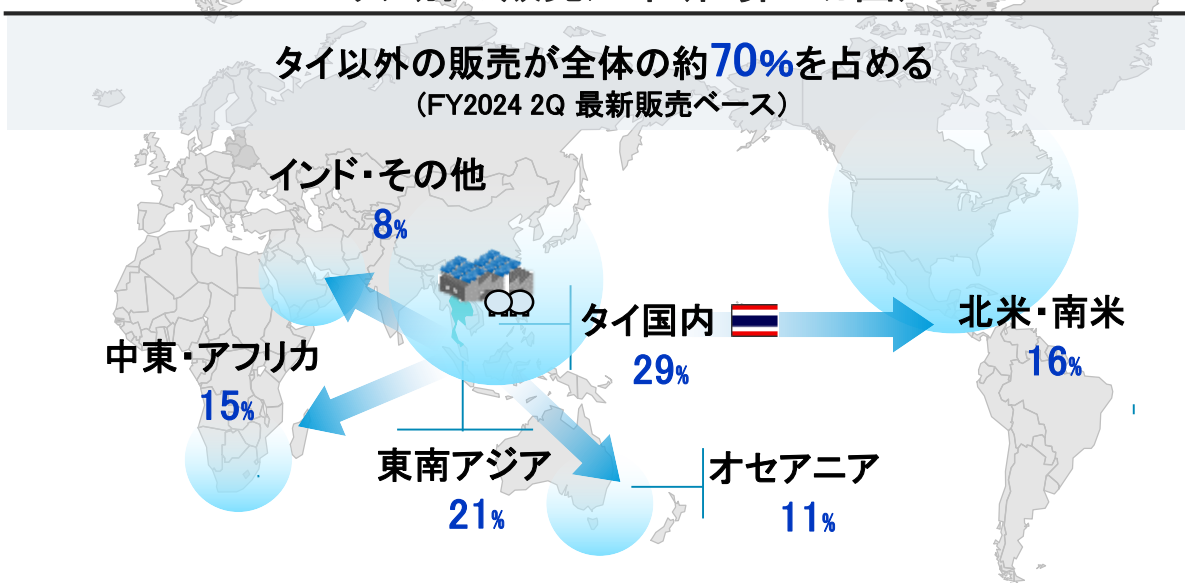
*TAAへの出荷分含む

※2023年度からの業績推移はP27をご参照ください。

事業利益推移(億円)



エリア別の販売比率(世界25カ国)



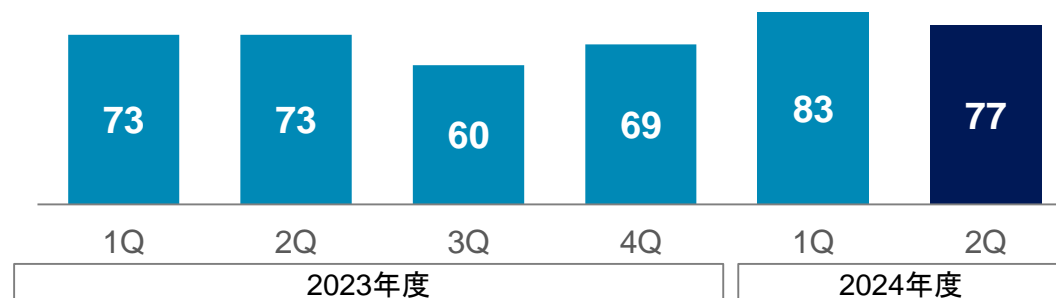
米国(TAA)の状況

缶材のサプライチェーン全体で需要が堅調に推移、販売数量拡大で増収増益

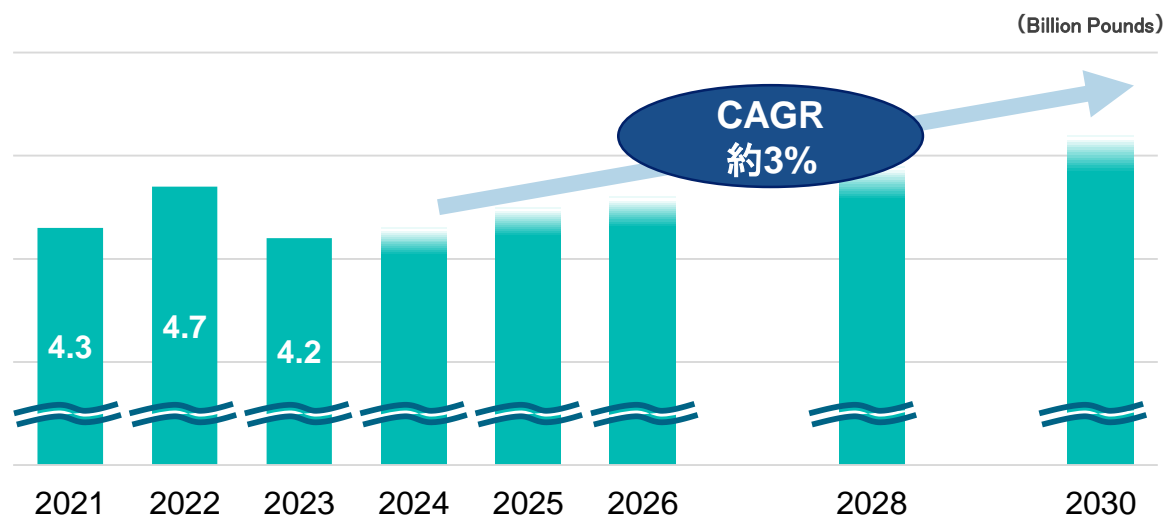
総括

- 需要** :
 - 長期的に北米の缶材需要の拡大傾向は変わらない
 - 足元の缶材需要はリストッキングから安定期へと移行している
- 生産** :
 - 高水準での生産が継続
 - 設備増強は順調に進捗
- 販売** : 前年同期比19千トン販売量が増加

事業利益推移(億円)



米国缶材需要の推移



(単位: 億円)

	23年度 上期 (4~9月)	24年度 上期 (4~9月)	前年同期比
販売量(千t)	208	227	19
売上収益	1,219	1,434	215
営業利益	101	181	80
事業利益	146	160	14

※2023年度からの業績推移はP27をご参照ください。

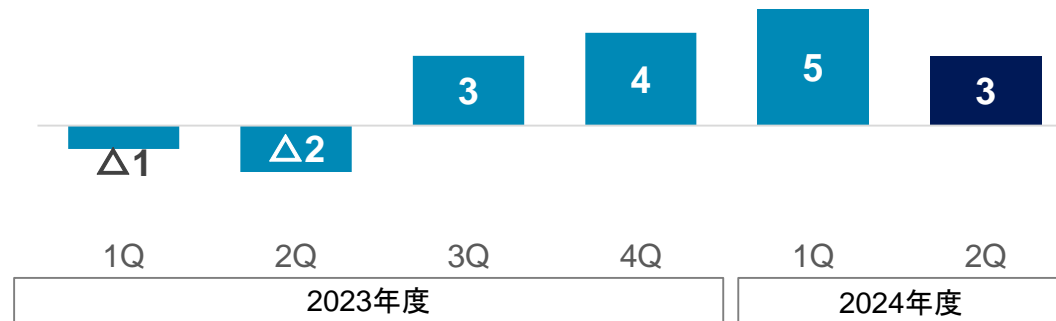
米国(UWH)の状況

日系OEMへの堅調な販売とコストダウン施策の徹底により、収益を確保

総括

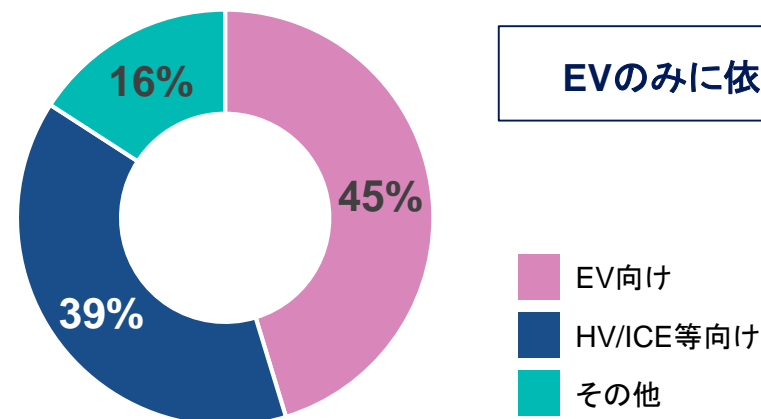
- 事業環境** : • 環境規制等により、車体の軽量化ニーズは強まる
 • EV市場は足元で一時的に需要が弱い、自動車市場全体の中長期的な成長には変化がないものと見通す
- 販売** : • 日系OEMへの安定的な販売が継続
 • 車体軽量化等の需要を取り込み、新規案件取得に向けて活動
- 損益** : • 顧客との交渉にて、昨年度末に続き収益を確保
 • 2023年度下期からのコストダウン施策の徹底を継続

事業利益推移(億円)



売上構成比

2024年度 上期



EVのみに依存しない売上構成

(単位: 億円)

	23年度 上期 (4~9月)	24年度 上期 (4~9月)	前年同期比
売上収益	210	195	Δ 15
営業利益	3	6	3
事業利益	Δ 3	8	11

※2023年度からの業績推移はP27をご参照ください。

2. 2024年度 業績予想



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2024年度 通期業績見通し

8月公表時の通期業績見通しを据え置き、計画達成に向け順調に進捗

(単位: 億円)	2023年度 実績(A)	2024年度見通し (8月公表据え置き) (B)	増減 (B) - (A)
売上収益	8,928	9,300	372
事業利益	434	455	21
棚卸資産影響等	△ 120	10	130
営業利益	314	465	151
親会社の所有者に帰属する当期利益	139	205	66
1株あたり当期利益 (円/株)	287	425	138
(参考) 事業利益をベースとした 親会社の所有者に帰属する当期利益	221	198	△ 23
(参考) 事業利益をベースとした 1株あたり当期利益 (円/株)	458	411	△ 47
Adjusted EBITDA	798	820	22
年間配当	90円/株	140円/株	50円/株

下期前提条件

LME	2,300	\$/t
為替レート	145	円/\$
	35.5	THB/\$
ドバイ原油	85	\$/B

アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2023年度実績 (A)	2024年度見通し (8月公表時据え置き) (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材*	791	854	63
箔 地	45	45	0
I T 材	8	10	2
自動車材	142	139	△ 3
厚 板	34	38	4
その他一般材	175	175	0
合 計	1,195	1,262	67
	国内市場向け 475 海外市場向け 720	国内市場向け 485 海外市場向け 777	国内市場向け 10 海外市場向け 57

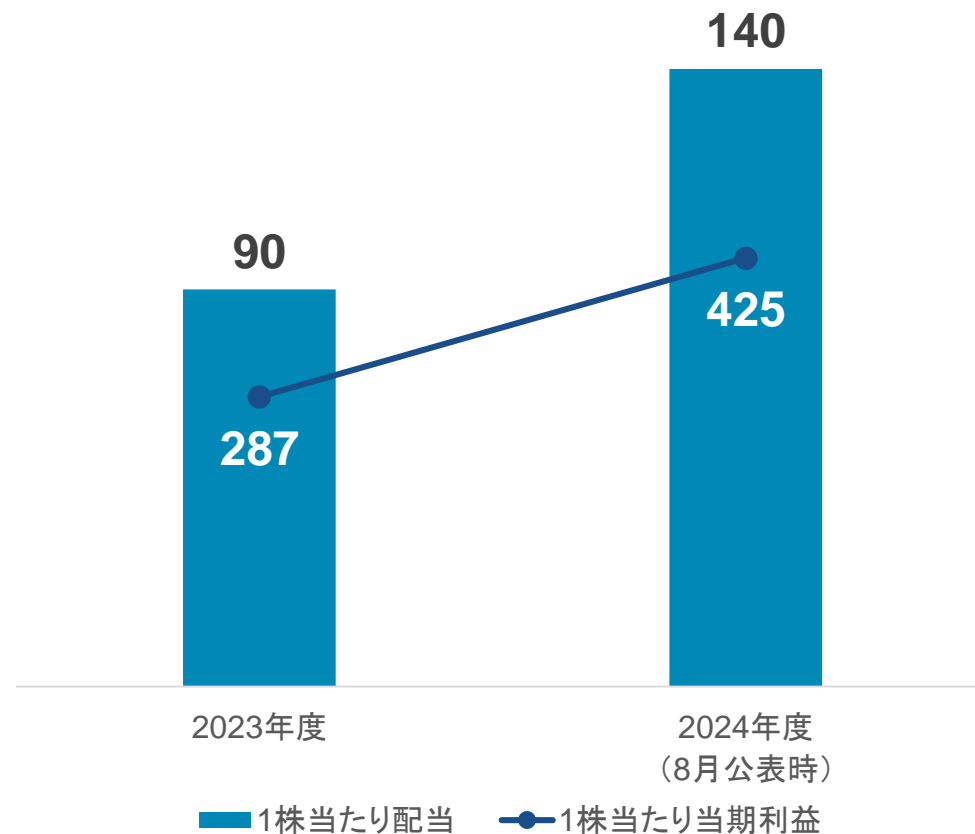
年間配当金140円/株に変更はなく、還元方針を堅守

第4次中期経営計画期間 還元方針

安定的かつ継続的な配当を目指す
配当性向 最終利益*30%以上

	2023年度		2024年度 (8月公表据え置き)	
最終利益	139億円		205億円	
年間配当	90円		140円	
配当性向	31.3%		32.9%	
内訳	中間	期末	中間	期末
	45円	45円	70円	70円

1株当たり配当(円)/1株当たり当期純利益(円)



3. 企業価値向上に向けた取り組み



UACJ

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

株式価値最大化に向けて (第4次中計にて公表)

ROEの改善 (目標9%以上)

- 事業利益目標：600億円
- ROIC目標：9%以上
- 価値創造プロセス見直し
- 事業戦略の策定
- 成長シナリオの構築

資本コスト低減 (目標7%台) 期待成長率の引き上げ

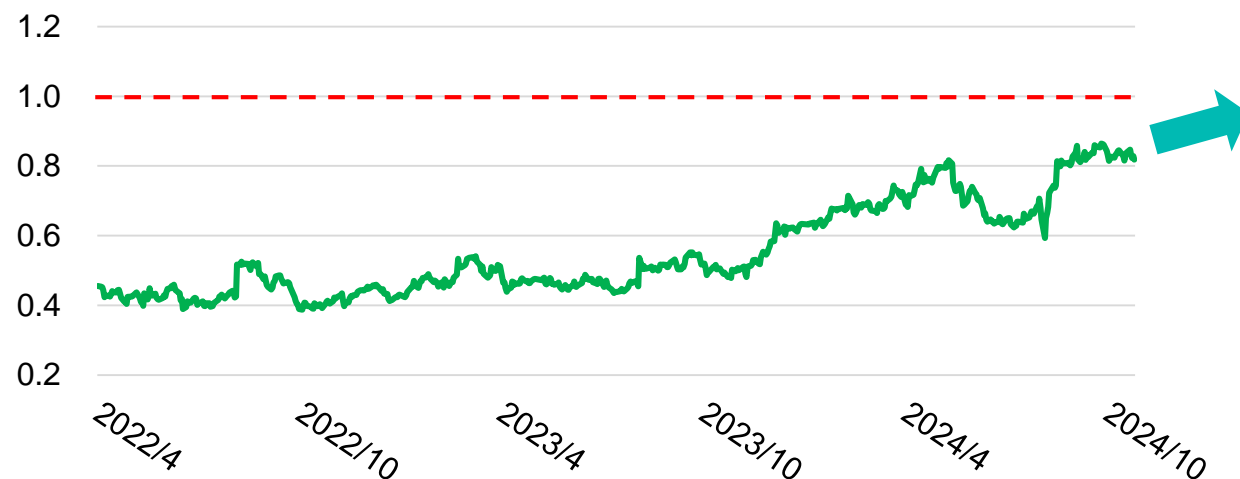
- 最適資本構成の実現
- 配当性向30%以上
- サステナブルな事業戦略の策定
- 非財務分野での価値創出
- 情報開示、エンゲージメント強化

エクイティ・スプレッド

早期に
1%以上に

株式価値最大化
(PBR1.0倍以上)

PBRの推移



循環型社会の実現に向けた研究開発 - 国家プロジェクトへの参画

【 1. 高度資源循環システム(アップグレードリサイクル)構築事業 】

- 産学官の協業による2021年より実施中のNEDO助成事業へ参画
- 不純物元素の低減技術、微量不純物を無害化する高度加工技術の開発を、UACJリードで目指す
- 世界初の量産化を目指す「縦型高速双ロール鋳造実験機」をR&Dセンター施設内に9月に設置完了

【目指す未来】

- ✓ 展伸材スクラップを活用した、年間20万トン規模の製造能力拡張
- ✓ アルミスクラップ資源が水平リサイクルで国内循環可能となり、地球環境へ大きく貢献
- ✓ アルミニウムのサプライチェーン上で2050年を目標に1,800万トン規模のCO₂排出量を削減



縦型高速双ロール鋳造実験機 (R&Dセンター：名古屋)

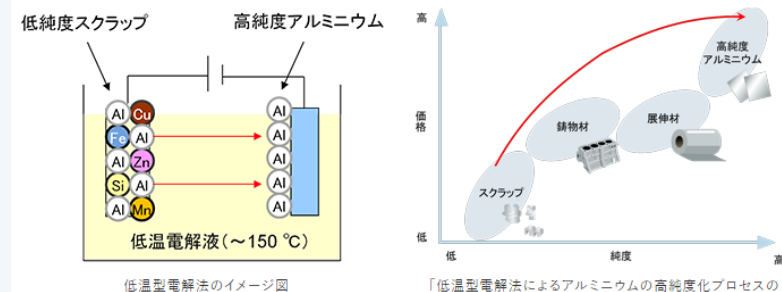
<https://www.uacj.co.jp/release/20240911.htm>

【 2. 低温型電解法によるアルミニウムの高純度化プロセスの研究開発(NEDO先導研究)が採択 】

- これまで廃棄されていた低純度アルミスクラップを、新地金相当の純度以上(99.9%)のアルミニウムへリサイクル可能とする技術(ハイアップグレードリサイクル)を、社会実装するための量産性の検証を産学官で実施(~26年度(最長))

【目指す未来】

- ✓ 廃棄されているアルミニウム資源の再利用(アルミ資源の国内循環)
- ✓ 現行の新地金製造方法に比較して、大幅なCO₂排出量の削減



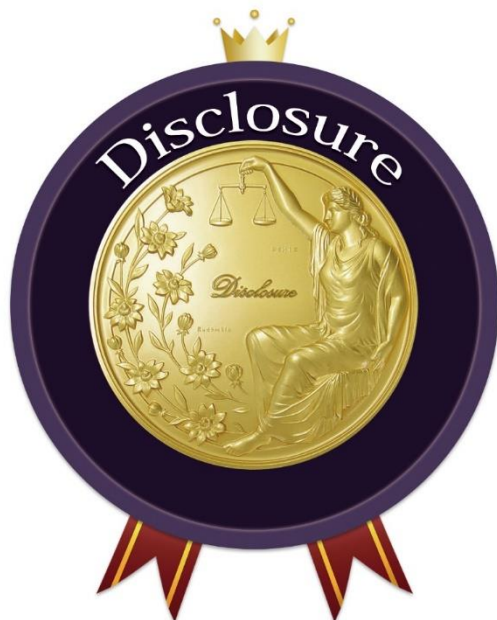
低温型電解法のイメージ図

「低温型電解法によるアルミニウムの高純度化プロセスの研究開発」におけるアップグレードリサイクルのイメージ図

<https://www.uacj.co.jp/release/20240823.htm>

資本市場との対話

ディスクロージャー
2024年度 優良企業



SAAJ 公益社団法人
日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

「ディスクロージャー優良企業(2024年度)」 鉄鋼・非鉄金属部門で初の1位獲得

当社は、

- 経営陣のIR姿勢
- フェア・ディスクロージャー

の項目において高い評価をいただき、

ディスクロージャー優良企業（2024年度）において
鉄鋼・非鉄金属部門で初めての1位を獲得しました。

今後も、ステークホルダーの皆さまとの対話の機会や
情報開示の質や量の充実と向上に積極的に取り組み、
中長期の経営戦略、事業活動へのご理解を深めていただき、
企業価値の向上に努めてまいります。

今後のスケジュール

サステナビリティ説明会@Zoom

2024年11月27日(水) 10:00~12:00

登壇者	代表取締役 社長執行役員	田中 信二
	取締役 副社長執行役員	川島 輝夫
	執行役員 サステナビリティ推進本部長	成田 緑

	独立社外取締役	池田 隆洋
	独立社外取締役	永田 亮子

リサイクルに関する事業説明会@Zoom

※登壇者は今後のスケジュールにより変更の可能性があります

2024年12月10日(火) 13:00~14:20

登壇者	名古屋製造所長	今西 由幸
	サステナビリティ推進本部 気候変動対策推進部長	後藤 郁雄
	板事業本部 鑄造統括部長	久本 利一
	板事業本部 鑄造統括部 リサイクル推進技術室長	松居 悠

4. ご参考



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

4. ご参考

企業理念とサステナビリティ基本方針

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

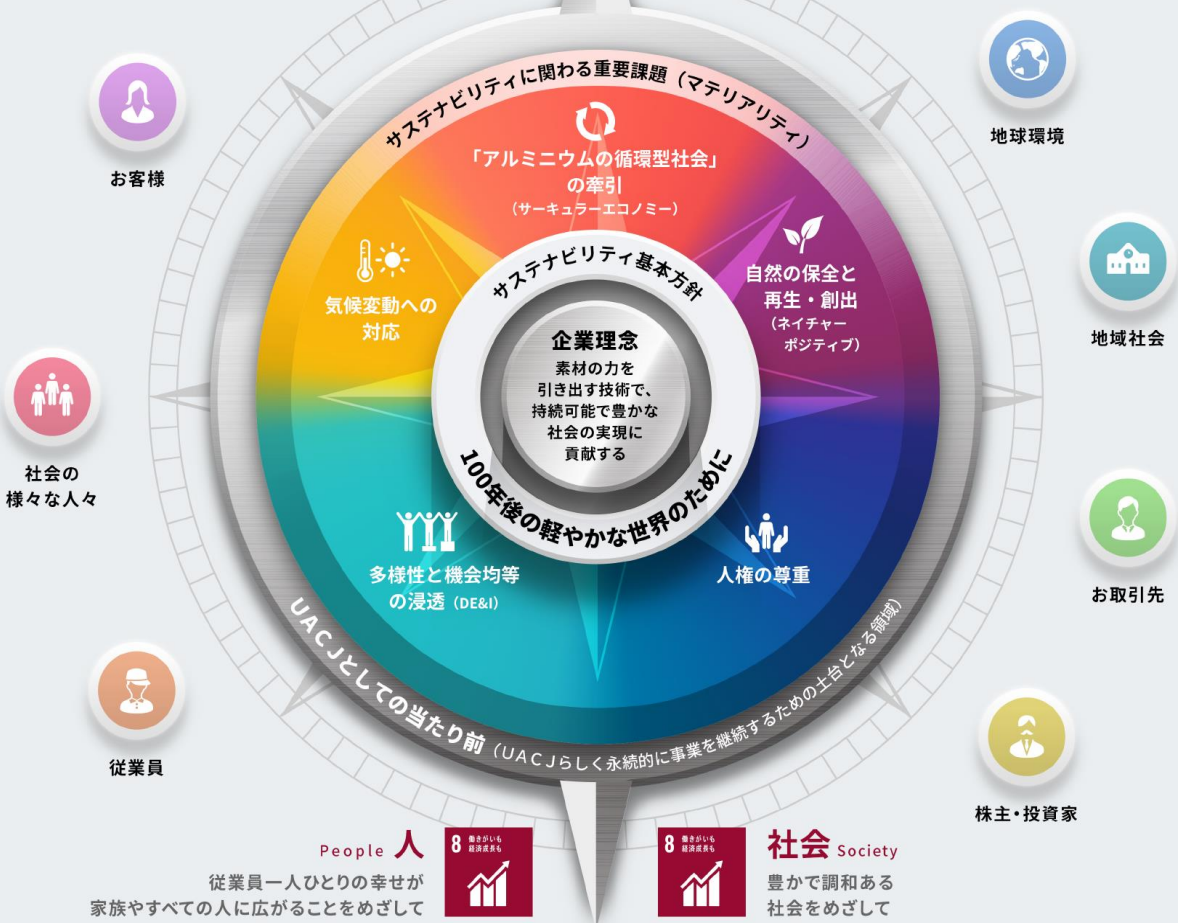
Business 事業

事業を通じて
軽やかな未来を創造するために



13 気候変動に
関係する持続可能な発展目標
環境 Environment

緑豊かな青い地球を
未来に継承するために



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる
この特徴は、アルミニウムならではの。
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。
未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

4. ご参考

主要指標推移

	日 本 会 計 基 準				I F R S					(単位:億円)
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 1Q(単)	2024年度 2Q(単)	2024年度 上期	2024年度 (見通し)	
連 結 売 上 高	6,152	5,698	7,829	9,629	8,928	2,476	2,383	4,871	9,300	
連 結 営 業 利 益	101	111	595	172	314	219	138	357	465	
事 業 利 益	-	-	-	-	434	168	132	300	455	
棚 卸 資 産 影 響 前 連 結 経 常 利 益	98	62	213	161	-	-	-	-	-	
連 結 経 常 利 益	38	60	523	87	-	-	-	-	-	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	20	△33	321	47	139	147	23	167	205	
設 備 一 般 投 資	143	109	129	210	217	35	65	100	160	
投 資 戦 略 投 資	347	72	79	54	114	24	23	47	205	
合 計	489	181	207	264	331	59	88	147	365	
減 価 償 却 費	312	334	340	373	364	94	93	187	365	
有 利 子 負 債 残 高	3,440	3,358	3,394	3,367	3,109	3,209	3,264	3,264	-	
R O E (%)	1.1	△1.8	15.6	1.9	5.3	-	-	-	-	
R O I C (%)	1.9	2.2	11.1	3.0	7.5	-	-	-	-	
D / E レ シ オ (倍)	1.56	1.56	1.36	1.25	1.0	1.0	-	1.0	-	
営 業 キャ ッ シ ュ フ ロ ー	581	386	78	526	949	△ 41	△ 80	△ 80	-	
投 資 キャ ッ シ ュ フ ロ ー	△ 300	△ 210	△ 210	△ 269	△ 362	△ 99	△ 199	△ 199	-	
フ リ ー キャ ッ シ ュ フ ロ ー	281	177	△ 132	257	587	△ 140	△ 278	△ 278	-	
株 主 資 本 (日 本 基 準)	1,827	1,775	2,090	2,096	2,105	2,228	2,232	2,232	-	

海外主要子会社 業績推移

(単位:億円)

UATH

	2023年度						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
販売量(千トン)	62	65	126	65	65	130	257
売上収益	340	352	692	366	367	734	1,426
営業利益	△ 14	0	△ 13	15	4	18	5
(棚卸資産影響)	△ 14	△ 1	△ 15	4	△ 11	△ 6	△ 21
事業利益	0	1	1	10	14	25	26

	2024年度			
	1Q	2Q	上期	通期見通し
販売量(千トン)	72	77	149	304
売上収益	453	494	947	1,713
営業利益	52	7	59	58
(棚卸資産影響)	33	△ 4	29	3
事業利益	19	11	30	55

TAA

	2023年度						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
販売量(千トン)	98	110	208	103	122	225	433
売上収益	570	648	1,219	595	722	1,317	2,536
営業利益	66	34	101	36	63	99	200
(棚卸資産影響)	△ 7	△ 38	△ 45	△ 24	△ 6	△ 30	△ 75
事業利益	73	73	146	60	69	129	275

	2024年度			
	1Q	2Q	上期	通期見通し
販売量(千トン)	109	118	227	436
売上収益	713	721	1,434	2,690
営業利益	107	75	181	225
(棚卸資産影響)	24	△ 2	22	0
事業利益	83	77	160	225

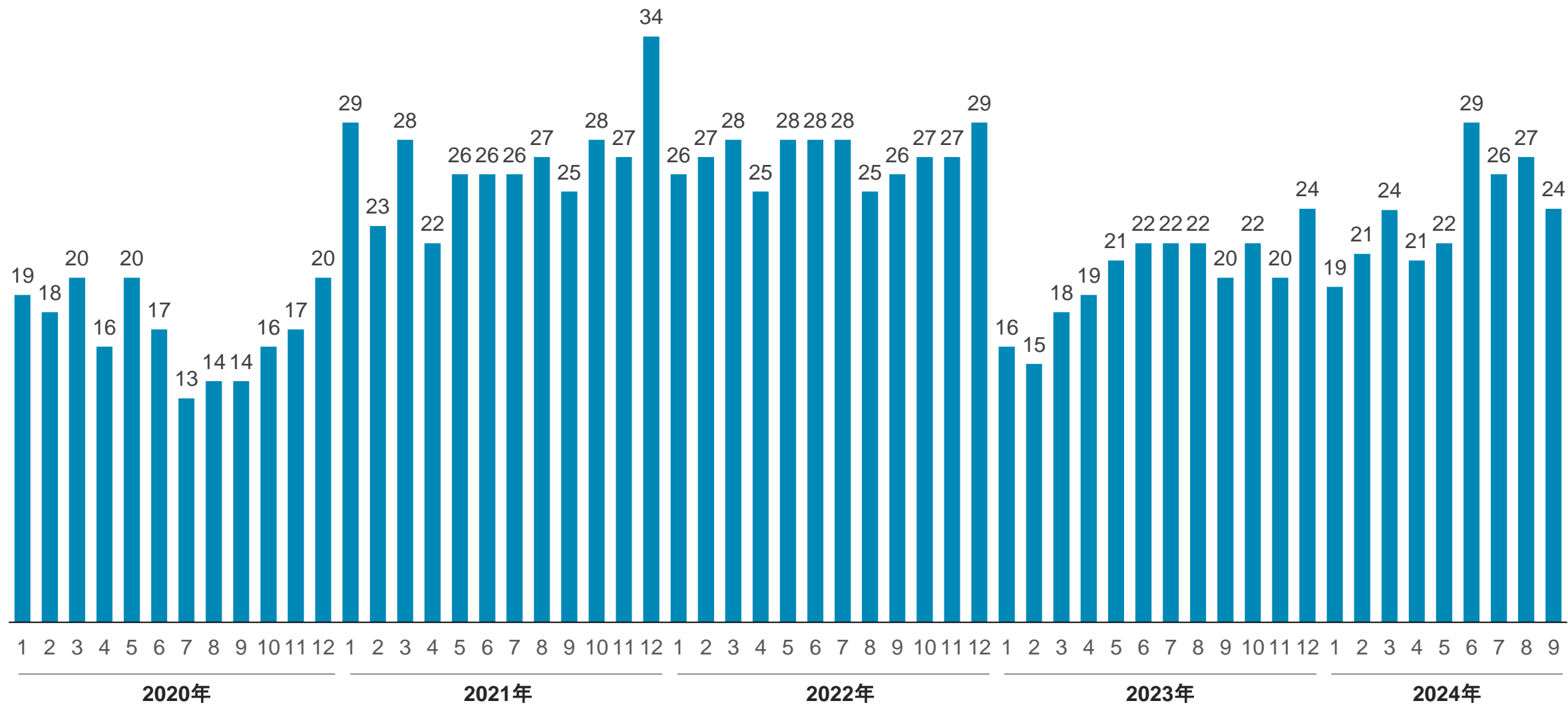
UWH

	2023年度						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	105	104	210	100	107	207	417
営業利益	1	2	3	4	4	8	11
(棚卸資産影響)	2	4	6	1	0	1	7
事業利益	△ 1	△ 2	△ 3	3	4	7	4

	2024年度			
	1Q	2Q	上期	通期見通し
売上収益	101	93	195	398
営業利益	4	2	6	9
(棚卸資産影響)	△ 1	0	△ 2	△ 3
事業利益	5	3	8	11

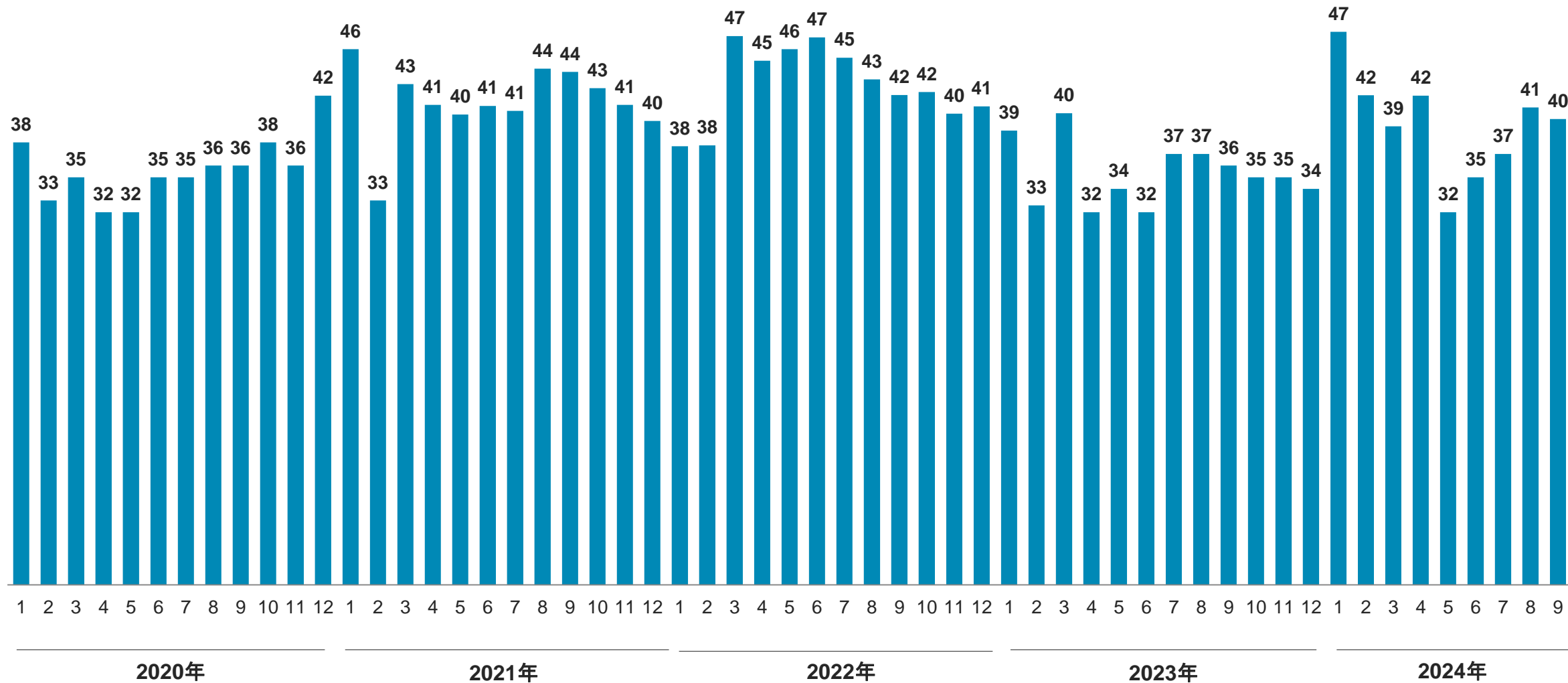
UATH 月次販売数量推移

(単位：千t)



TAA 月次販売量推移

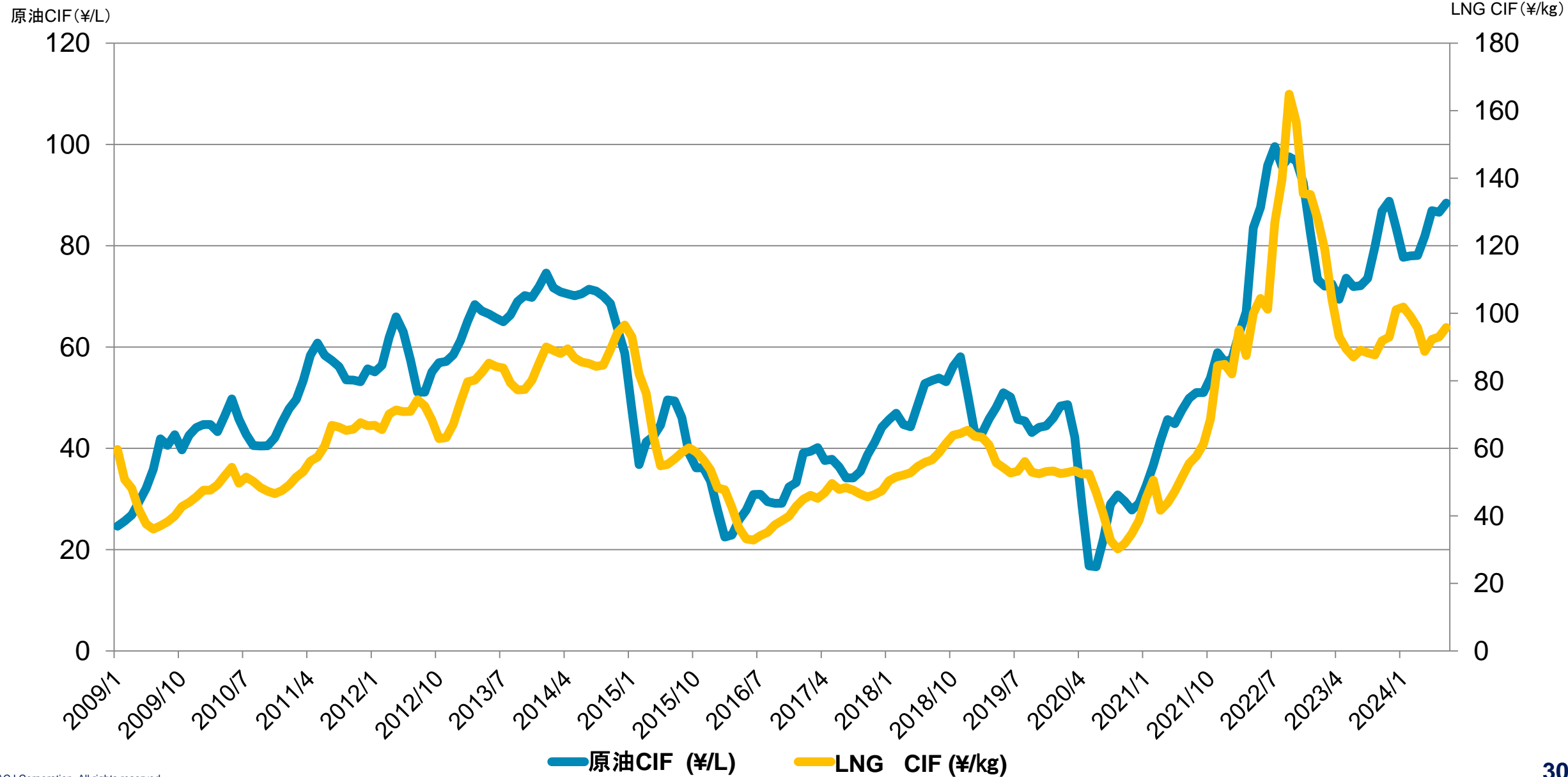
(単位：千t)



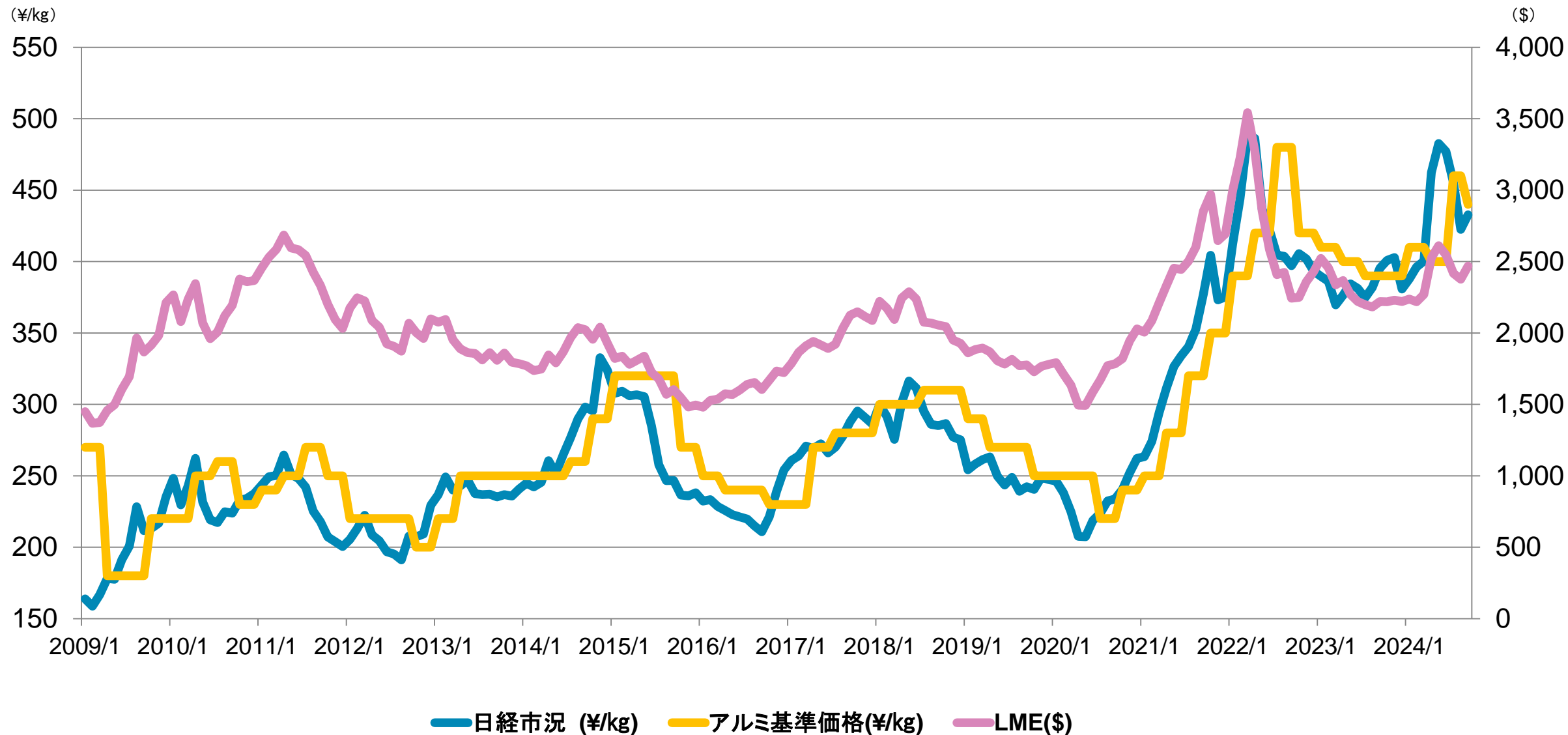
諸元と感応度

	2022年度 期中平均	2023年度 期中平均	2024年度 上期平均	営業利益への 感応度
LME (米\$)	2,490	2,202	2,451	\$100/t上昇した場合 →+22~35億円/年
為替 (円/米\$)	136	145	153	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料単価、添加金属:円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差:円安が有利
為替 (円/タイバーツ)	3.8	4.1	4.3	
為替 (タイバーツ/米\$)	35.1	35.2	35.7	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料単価、添加金属:THB高が有利 ・ロールマージン:THB安が有利
原油 (ドバイ:米\$)	92	82	82	10ドル上昇した場合 →△10~15億円/年

燃料単価推移



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



お客様に選ばれ続けるUACJであるために — ASI認証の取得

ASI(Aluminium Stewardship Initiative)

アルミニウムのサプライチェーン全体におけるサステナビリティの取り組みの向上や、ESG観点からの社会貢献を最大化することを目的とする国際イニシアチブ。

国際アルミニウム協会をはじめ、アルミニウムの生産者、加工メーカー、エンドユーザーなど様々な立場でアルミニウムに関わる企業が参画し、2012年に発足。

2018年度には監査・第三者認証の運用も開始。現在世界360以上の企業・組織が加盟

福井製造所および UATHロン製造所で、ASIが発行する2つの認証を取得

UACJにとってのASI加盟の意義



ASIでの保証を裏付けに
製品を出荷

サステナブルな製品で
最終消費者の期待を実現



環境・社会・ガバナンス面で
高い基準を満たす製品を要求

”サステナブル“な
商品へのリクエスト

業界のリーディングカンパニーとして
認証取得と更新を行う。
グローバルなルール作りの場に参画していく

海外の飲料缶大手を中心にASI取得が
取引条件に設定される事例が増えている。
今後、欧州圏から他地域への拡大、他分野
への拡大が予想される。

棚卸資産影響

アルミ圧延事業における棚卸資産影響

① 平均法による材料費計算

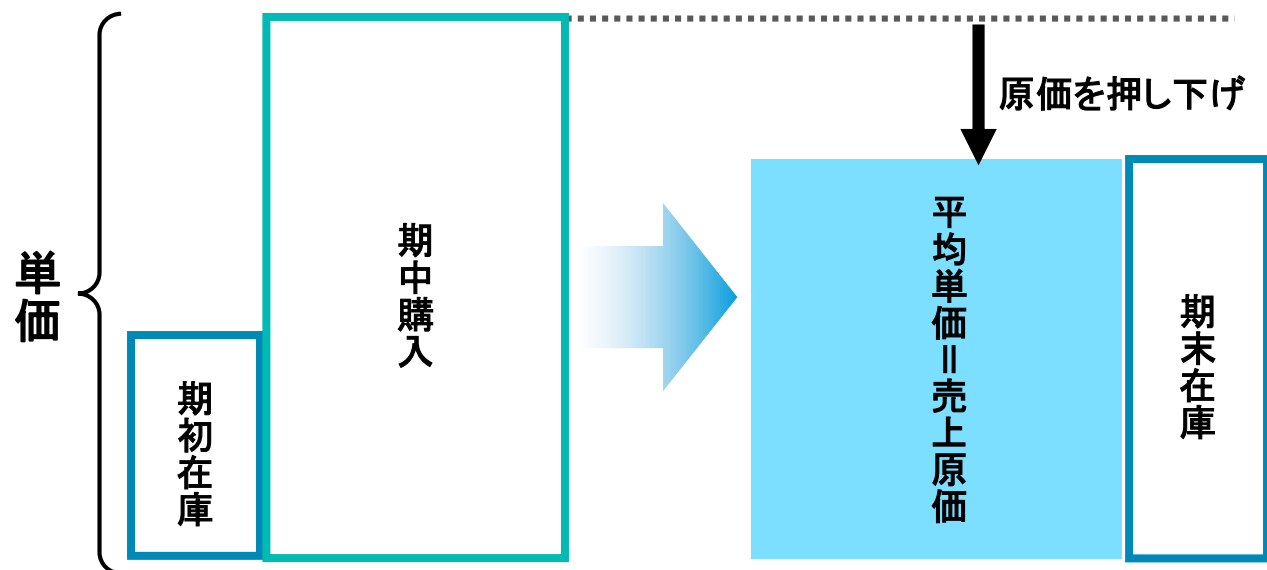
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算(期首在庫が影響)

② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

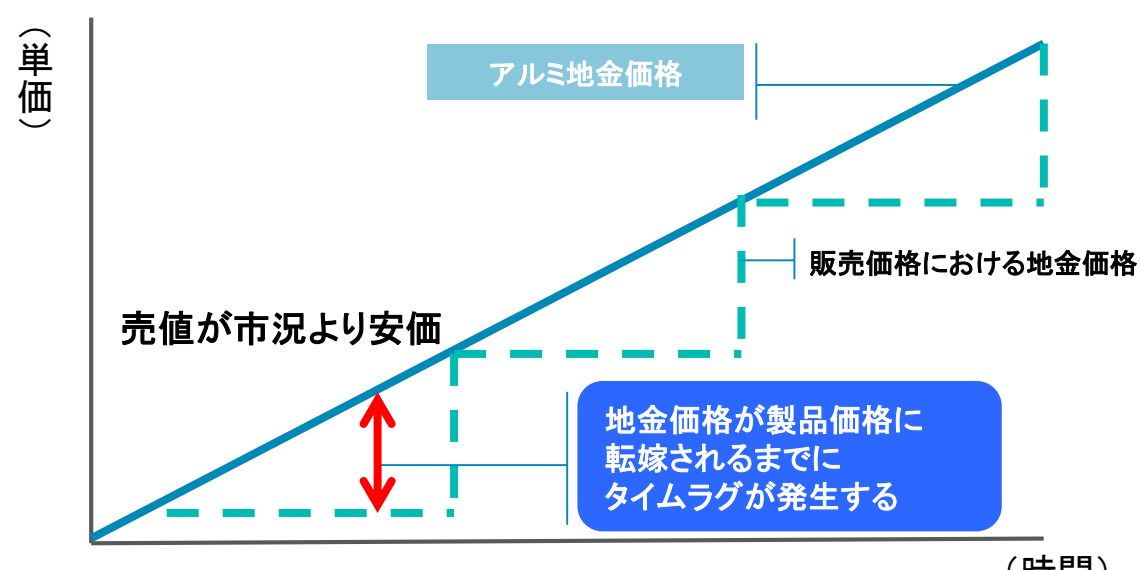
①+ ②= 棚卸資産影響

【アルミ地金価格上昇】

① 平均法による材料費計算






② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



外部環境の変化と対応について

収益の安定化に向け、外部事業環境の変化に強い価格スキームを確立

	国内 	TAA(米国) 	UATH(タイ) 
アルミニウム地金価格の上昇	販売価格に転嫁		
エネルギー価格の高騰	販売価格への転嫁は 予定通り導入済み 電力費用の追加負担分については引き続き検討	販売価格への転嫁を実施 (市場価格連動の 価格スキームを 導入済)	契約更新(新規含む) 市場価格連動の 価格スキームを 導入済 既存契約期間中の見直し 契約更改のタイミングで 導入の交渉を実施
添加金属価格の高騰	添加金属を多く含む製品について、市場価格に連動した価格スキームを 導入済		
物流費の上昇	—		販売価格への転嫁を実施 (フォーミュラ制を 導入済)

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

web-contact-ir@ml.uacj.co.jp

<http://www.uacj.co.jp>

(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

